

# WORLD THOROUGHBRED RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses  
(covering the period 1<sup>st</sup> November 2012 to 28<sup>th</sup> April 2013)

引退したばかりのブラックキャビア【130】が 2013 年第 1 回ワールドサラブレッドランキングのトップに立った。今年は 4 月までに 3 勝し引退の花道を飾った。

World Thoroughbred Rankings			
Leading Horses			
<a href="#">click here for complete rankings</a>			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	<b>BLACK CAVIAR (AUS)</b>	<b>130</b>	AUS
2	<b>WISE DAN (USA)</b>	<b>129</b>	USA
3	<b>ANIMAL KINGDOM (USA)</b>	<b>126</b>	USA
3	<b>GAME ON DUDE (USA)</b>	<b>126</b>	USA
5	<b>FORT LARNED (USA)</b>	<b>125</b>	USA
5	<b>ORFEVRE (JPN)</b>	<b>125</b>	JPN
7	<b>AMBITIOUS DRAGON (NZ)</b>	<b>124</b>	HK
7	<b>GOLD SHIP (JPN)</b>	<b>124</b>	JPN
7	<b>MUCHO MACHO MAN (USA)</b>	<b>124</b>	USA
7	<b>ST NICHOLAS ABBEY (IRE)</b>	<b>124</b>	IRE

2010～2012 年の間、スプリント部門の世界トップの座に君臨してきた同馬であるが、今後レースに出走することはないものの、4 年連続で同部門のトップになることをほぼ確定させた。同馬の名前を冠した 2 月のブラックキャビアライトニング S(G1)や 3 月のウイリアムリード S(G1)、さらには 4 月の TJ スミス S(G1)を圧倒的なパフォーマンスで制し、デビュー以来の連勝記録を 25 に伸ばすとともに G1 競走の通算勝利数も 15 とした。これにより、キングストンタウンがそれまで保持していたオーストラリアでの G1 最多勝利記録 14 を更新した。加えて、同馬は牝馬、スプリント、さらにはオーストラリア調教馬の 3 つのカテゴリーで 2004 年のワールドサラブレッドランキング創設以来、最も高いレーティングを得ることとなった。

2012 年のアメリカの年度代表馬であるワイズダン【129】は 4 月にキーンランド競馬場で施行されたメーカーズ 46 マイル(G1)を制し、シーズン緒戦を飾った。芝、ダートの G1 勝馬であるのみならず、昨年キーンランドの人工馬場での G3 競走でも 10 馬身以上の差をつけての圧勝劇を演じ、幅広い馬場適性を見せてきた同馬であるが、今回もトップハンデながらも、昨年 11 月のブリーダーズカップマイル(G1)を制したときよりも楽に勝っている。

アニマルキングダム【126】は昨年のブリーダーズカップマイルでは不利がありながらもワイズダンの2着を確保、その後は3月にメイダン競馬場で施行されたドバイワールドカップ(G1)を完勝し、能力の高さを示した。

またドバイでは、セントニコラスアビー【124】がドバイシーマクラシック(G1)を制して、2011・2012年と同様の評価を得ることとなった。また、シェイシェイ【120】がアルクオーツスプリント(G1)を快勝した。

今年これまでのダート部門で最も高いレーティングを得たのがゲームオンデュード【126】である。同馬は3月のサンタアニタH(G1)では並み居るライバルを相手に7 3/4馬身差で圧倒した。また、今年の北米芝のトップはポイントオブエントリー【123】でガルフストリームパークターフH(G1)を制し、昨年同様の評価を得た。

香港では年度代表馬アンビシャスドラゴン【124】がシャティンでのクイーンズシルバージュビリーC(香港G1)を制し、健在ぶりをアピールした。また成長著しいミリタリーアタック【122】がクイーンエリザベスII世カップ(G1)を1 3/4馬身差で制し、これまでで最高の評価を得た。

他にもニュージーランド調教馬オーシャンパーク【122】がニュージーランドS(G1)を3 1/2馬身差で完勝、前年同様の評価を得ている。

元欧州調教馬のリライアブルマン【122】はオーストラリア移籍後、4月にランドウィック競馬場で施行されたクイーンエリザベスS(G1)を制し、昨年同様の評価を得た。またオールトゥハード【122】が2月のフューチュリティS(G1)を3 1/4馬身差で制している。

欧州G1初戦のガネイ賞(G1)ではパストリウス【122】がマキシオス【120】を1馬身差で降している。